

公民

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
公民	公共	2	2年次・全	必修
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
新公共（第一学習社）		新公共ノート（第一学習社）		履修条件なし 2年次必修履修科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
1 学 期	第1編 公共の 扉	第1章 公共的な空間をつくる私たち ①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして	4	・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。	1 2 3 1 2 3 1 3 1 2 1 2 3
		第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 ①人間と社会のあり方についての見方・考え方	5		1 2 3
		第3章 公共的な空間における基本的原理 ①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配 ③自由・権利と責任・義務 ④日本国憲法に生きる基本的原理	6	・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。	1 2 3 1 2 1 3 1 2 3
			7		
2 学 期	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任 主題3 司法参加の意義	9	・法やルールを定める時には、どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。	1 2 1 2 3 1 3
		第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論形成 主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛 主題7 国際社会の変化と日本の役割	10		2 3 1 2 3 1 3 1 2
		第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観 主題10 市場経済の機能と限界 主題11 金融のはたらき 主題12 財政の役割と社会保障 主題13 経済のグローバル化	11	・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。	1 3 1 2 3 1 2 1 2 3 2 3 1 2 3
			12		

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

3 学 期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	①排出権取引を考える～地球環境問題 ②ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題 ③ゲノム編集を考える～生命倫理 ④インターネットによる投票を考える～情報 ⑤フェアトレードを考える～国際社会の課題	1	・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動を行う。	1 2 3
			2		1 3
			3		1 2
					1 2 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○学習内容を理解できているか。 ○発問を理解し、答えを正しく求めることができているか。 ○資料から得られる情報を効果的に活用しているか。	○学習内容を理解しようとしているか。 ○学習内容を適切に活用し、自分の意見を表現できているか。 ○学習内容を現代の諸課題に関連付けて考えることができているか。		○学習内容に興味、関心を持ち、内容を考察し、自ら調べようとしているか。 ○現代の諸課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしているか。
	手 段	・定期テストや授業中の応答、課題など	・定期テストや授業中の応答、課題など		・授業中の応答や態度、課題など
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価する。		
	学習上の留意点	・毎時間教科書とノート、タブレットを持参する。 ・課題やノート（学習プリント）など、提出物は期限内に提出すること。			